



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 rakumo株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4060 URL <https://corporate.rakumo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 御手洗 大祐  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西村 雄也 TEL 050 (1746) 9891  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後EBITA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	294	16.6	73	47.2	71	43.2	69	46.7	48	41.7
2022年12月期第1四半期	252	11.2	49	14.4	49	14.4	47	15.4	33	△12.8

※調整後EBITA＝営業利益＋のれん償却費（PPAによる取得原価配分後の各種償却費を含む）

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 50百万円 (26.3%) 2022年12月期第1四半期 39百万円 (△11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	8.36	8.18
2022年12月期第1四半期	5.95	5.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,823	1,203	66.0
2022年12月期	1,776	1,152	64.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 1,203百万円 2022年12月期 1,152百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,246	13.7	291	25.6	285	26.4	197	6.9	34.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期1Q	5,756,100株	2022年12月期	5,748,900株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	67株	2022年12月期	67株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期1Q	5,749,966株	2022年12月期1Q	5,697,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・2023年12月期の連結業績予想に記載の「1株当たり当期純利益」の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、2023年4月1日から2023年4月30日までの間の新株予約権の行使（1,400株）による株式増加数を反映させて算出しております。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は一部に弱さがみられたものの、緩やかに持ち直しました。先行きについては、ウィズコロナ下における各種政策効果により、景気は持ち直していくことが期待されます。一方、世界的な金融引締めが続く中で、海外景気の下振れが、わが国の景気下押しリスクとなっております。また、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場における変動等の影響に十分注意する必要があります、依然として不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開するソフトウェア業界におきましては、企業の生産性向上や業務効率化、テレワークに関連したシステムへの投資需要拡大が引き続き見込まれます。政府が推進する「働き方改革」への取り組みに加え、ウィズコロナ下における在宅勤務やモバイルワーク等テレワークの実施、オフィス勤務とリモートワークを併用したハイブリッド勤務の増加等、「新しい働き方」が定着しつつあります。

このような状況の中、当社グループは、『仕事をラクに。オモシロく。』というビジョンのもと、『次のいつもの働き方へ。』をミッションに掲げ、オフィスの生産性向上に貢献すべく、企業向けグループウェア製品「rakumo」及び「gamba!」の機能強化及び更なる拡販に注力しました。

販売面においては、販売パートナーとのセミナー実施等、売上増加に向けた関係強化に取り組みました。また、インサイドセールス（電話やメール等を活用したリード獲得）の内製化や、各種マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しました。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品の活用を促すための能動的なオンボーディング（活用促進）施策を実施する等、お客様満足度の向上や解約率の低減にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高294,328千円（前年同期比16.6%増）、営業利益71,181千円（前年同期比43.2%増）、経常利益69,704千円（前年同期比46.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益48,060千円（前年同期比41.7%増）となりました。

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、サービス別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### (SaaSサービス)

当サービスにおいては、2023年3月末のクライアント数は2,351社（2022年12月末比17社増）、ユニークユーザー数は514千人（同12千人増）となり、共に前期末より増加いたしました。

売上増加に向け、自社セミナーを開催した他、Google社や販売パートナー主催のセミナー参加等、パートナーの特徴に応じた顧客アプローチを行うことで、販売パートナーとの関係強化に取り組みました。また、インサイドセールスの内製化による柔軟・迅速な顧客対応の実施や、各種マーケティング施策にも積極的に取り組むことで、新たな案件創出に尽力しております。

加えて、クライアントニーズを勘案した既存製品の機能追加・改善や、製品間連携を訴求したパック製品の販売強化、顧客属性に応じた能動的なサポート・オンボーディング（活用促進）施策を実施することで、新規クライアントの獲得や、ユニークユーザー数及びユーザー1人当たり単価の増加に取り組みました。

また、社内SNS型日報アプリ「gamba!」の拡販にも努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は262,309千円（前年同期比20.7%増）となりました。

#### (ソリューションサービス)

当サービスにおいては、既存顧客への業務支援案件は安定的に推移しましたが、ライセンスサービスに関する大型導入支援案件の月ずれ等もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,783千円（前年同期比25.7%減）となりました。

#### (ITオフショア開発サービス)

当サービスにおいては、既存顧客からのラボ型開発案件が安定的に推移したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は22,236千円（前年同期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,823,807千円となり、前連結会計年度末に比べ47,203千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が46,718千円、ソフトウェア（ソフトウェア仮勘定含む）が4,222千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は619,850千円となり、前連結会計年度末に比べ4,263千円減少いたしました。これは主に、契約負債が47,218千円、買掛金が3,781千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が40,000千円、未払法人税等が6,506千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,203,956千円となり、前連結会計年度末に比べ51,467千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益48,060千円を計上したことにより、利益剰余金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は66.0%（前連結会計年度末は64.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年2月10日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,435,554	1,482,272
売掛金	47,374	49,880
仕掛品	380	527
貯蔵品	155	163
その他	44,602	41,280
流動資産合計	1,528,067	1,574,123
固定資産		
有形固定資産	20,084	19,615
無形固定資産		
のれん	84,794	82,775
ソフトウェア	52,652	55,979
ソフトウェア仮勘定	13,905	14,800
無形固定資産合計	151,351	153,555
投資その他の資産	77,100	76,513
固定資産合計	248,536	249,683
資産合計	1,776,603	1,823,807
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,885	37,667
1年内返済予定の長期借入金	40,000	—
未払法人税等	23,920	17,413
契約負債	433,954	481,172
賞与引当金	5,916	3,287
資産除去債務	1,847	893
その他	64,391	59,630
流動負債合計	603,914	600,063
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
資産除去債務	8,740	8,746
その他	1,459	1,040
固定負債合計	20,199	19,787
負債合計	624,114	619,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	390,235	390,888
資本剰余金	351,085	351,738
利益剰余金	394,808	442,869
自己株式	△112	△112
株主資本合計	1,136,016	1,185,383
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△126
為替換算調整勘定	16,473	18,699
その他の包括利益累計額合計	16,473	18,573
純資産合計	1,152,489	1,203,956
負債純資産合計	1,776,603	1,823,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	252,477	294,328
売上原価	92,739	104,007
売上総利益	159,737	190,321
販売費及び一般管理費	110,022	119,139
営業利益	49,714	71,181
営業外収益		
受取利息	7	8
その他	0	31
営業外収益合計	7	39
営業外費用		
支払利息	489	75
為替差損	1,727	793
投資事業組合運用損	—	647
その他	0	0
営業外費用合計	2,217	1,516
経常利益	47,504	69,704
税金等調整前四半期純利益	47,504	69,704
法人税、住民税及び事業税	5,784	14,957
法人税等調整額	7,812	6,686
法人税等合計	13,597	21,644
四半期純利益	33,907	48,060
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,907	48,060

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	33,907	48,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△126
為替換算調整勘定	5,794	2,226
その他の包括利益合計	5,794	2,099
四半期包括利益	39,701	50,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,701	50,160
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

当社グループはITビジネスソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。